

遺伝の規則性

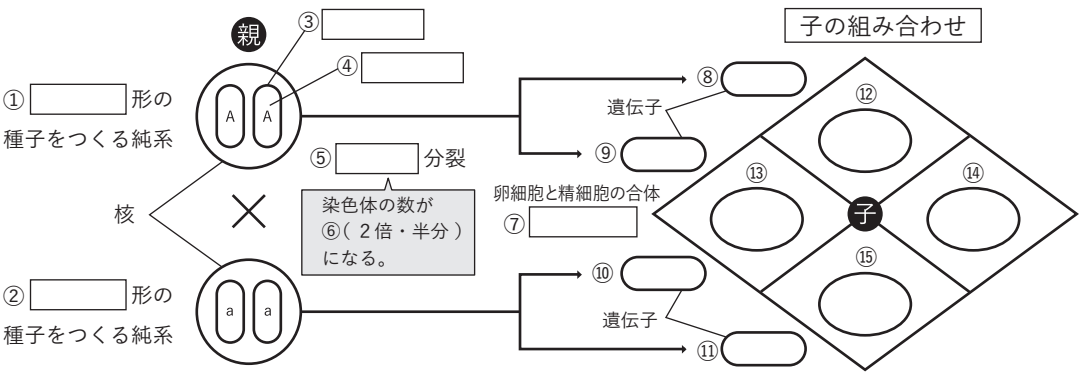
基本のチェック

重要な用語 () に適当な語句を入れなさい。

- ① () … 親の形質が子や孫の世代に現れること。
- ② () … 生物のもつ形や性質の特徴のこと。
- ③ () … 形質を表すもとになるもの。細胞の核にある ④ () の中に含まれる。
- ⑤ () … ③の本体。日本語名は ⑥ () 。
- ⑦ () … 対になって存在していて、どちらか一方しか現れない形質。
- ⑧ () … 親、子、孫と代を重ねても同じ形質になるもの。
- ⑨ () の形質 … 純系どうしをかけ合わせるとき、子に現れる形質。反対は ⑩ () の形質。
- ⑪ () の法則 … 減数分裂によって対になっている遺伝子がそれぞれ別々の生殖細胞に入ること。
- ⑫ () の法則 … 優性の形質をもつ親と、劣性の形質をもつ親をかけ合わせると、子にはすべて優性の形質だけが現れること。

1 丸形の種子をつくる純系としわ型の種子をつくる純系のかけ合わせ

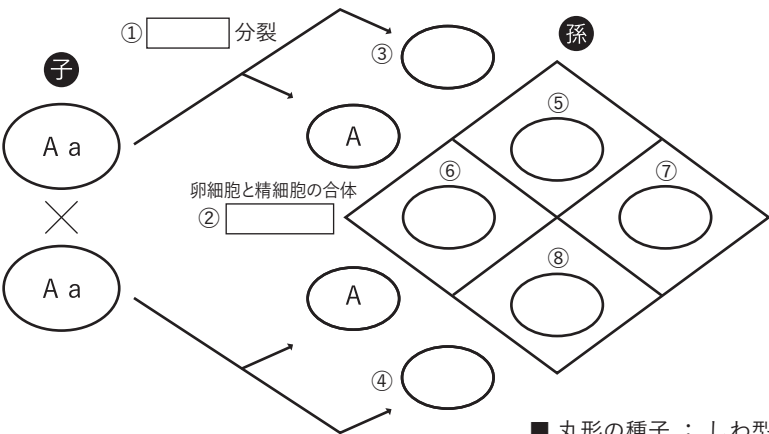
下の図は、丸形の種子をつくる純系としわ型の種子をつくる純系をかけ合わせて、子をつくった様子を表したモデル図である。①～⑦、⑬に適当な語句を入れるか、または選びなさい。⑧～⑫は記号を入れなさい。



■ できた子の種子はすべて ⑬ (丸・しわ) 形。

2 1でできた子どうしのかけ合わせ

下の図は、1でできた子 (Aa) どうしをかけ合わせて孫をつくった様子を表したモデル図である。①、②に適当な語句、⑨に適当な数字、③～⑧に記号を入れなさい。



■ 丸形の種子 : しわ型の種子 = ⑨ (:)